

令和3年度第1回青森市社会教育委員会議定例会議 会議概要

- 1 日時： 令和3年5月24日（月）13時30分～14時45分
- 2 会場： 青森市教育研修センター 5階 大研修室
- 3 出席者： 棟方梢議長、石澤千鶴子委員、小笠原秀樹委員、川村隆義委員、高橋隆子委員、
滝口小百合委員、常田清彦委員、蒔苗礼子委員、米田学委員
事務局： 教育部長 小野正貴、教育次長 大久保綾子
文化学習活動推進課長 : 杉山 潔
参事・文化財課長事務取扱 : 葛西俊一
中央市民センター館長 : 坂牛 裕
市民図書館長 : 伊藤慶尚
指導課長 : 角田 毅
浪岡教育課長 : 石村 淳

4 次第

- (1) 開会
- (2) 議題等
 - ①令和3年度社会教育関係年間予定について
 - ②令和2年度・令和3年度青森市成人式の開催について
 - ③学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の拡充について
 - ④令和3年度東青地区社会教育委員連絡協議会表彰について
- (3) その他
 - ①令和3年度青森県社会教育研究大会について
- (4) 閉会

5 主な質疑応答、意見等

(2) ②令和2年度・令和3年度青森市成人式の開催について

・成人式について、先が見通せない状況であるが、計画通りに実施できることを願う。10月上旬に対象者に案内するということが、まだ案内を出さないのは、それまでに変更する可能性があるということか。

⇒これから実行委員会を立ち上げ、内容を協議していくため、案内を早く出すことは難しい。固まった内容を最終案内とするため、10月頃の時期に設定している。

(2) ③学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の拡充について

・本市のコミュニティ・スクールの特徴のうち、相互に乗り入れて授業をする取組みについて、小学校の先生が中学校側で教えるというのはあまり無いのではないか。中学校教員の負担が多くなるのではないか。

⇒一貫校についての実数等を確認しながら検証し、成果等の報告を検討中。中学校の先生の専門教科を小学校段階を踏まえた指導に深めるという意味では非常にプラスになる面もあると考えられる。小学校の先生については、中学校に乗り入れする正確な数字などの方向性が見えたらまた報告していきたい。

- ・三内中学校区が4・3・2制に取り組んでいる。4・3・2制と6・3制の大きな違いを教えてください。(小学校1~4年生まで:4年、小学校5、6年生と中学校1年生:3年、中学校2、3年生:2年の区切り)

- ⇒小学校1年生から4年生までは、段々大人としての付き合いが深まっていく段階。小5、小6、中1の発達の段階で小学校・中学校の先生が両方関わり、しっかり指導していく段階。中2、中3では将来を見据えて一気に学習が進んでいく段階と考えている。

- ・コミュニティ・スクールに興味があり、地域の子どもたちに貢献できることがないかと思うが、地域との繋がり方が見えてこない。現状を知りたい。

- ⇒学校を地域が支え、学校も地域の課題解決に協力するというのが基本的な考え方である。地域と学校という意味での繋がりみたいなものはある。

(3) その他

- ・英語教育については、中学校の先生が小学校で教えることにより、英語をすんなり覚えやすく、良いと思う。早く小中一緒になっていけばいいと思う。

- ・学校と地域の繋がりという点で、学校で困った時は地域の誰かに声をかけると地域が学校を支援するし、地域が行事を開催するときに子どもたちの参加・協力を学校にお願いすると、学校が協力してくれるのですごく役に立っている。

- ・普段からいざという時に広がるようなネットワークづくりをしていくことが、コミュニティ・スクールがうまくいく秘訣であると感じた。

- ・コミュニティ・スクールに関して、これから導入する地域によっては、住民の高齢化の問題などにより、うまく実施できるか心配であるという声もある。

- ・コミュニティ・スクールについて、事業や研修会の紹介や参考事例の共有をしていけば、これからの流れや議論も活発化するのではないか。

- ・コミュニティ・スクールを創設し、地域の問題なども解決に向けて動いていた矢先に、新型コロナウイルスの影響で集まりにくくなり、空中に浮いたような状態になっている。専門教科の先生の配置など、すぐに解決しなければいけないこともある。地域の特色を生かす教育は未来に繋がっていくことだと思うので、運営協議会を生かし、もっと充実させていきたいと改めて思う。

- ・コミュニティ・スクールについて、成功事例、失敗事例のノウハウを共有できるように、虎の巻のようなものを将来的に作ることができればいいと思う。また、先生の異動に影響を受けないよう、ノウハウを多くの地域で共有できるような仕組みを作ってほしい。

- ・ ICT 教育が市で盛んに行われているが、地域格差があると思う。とても良い基盤が出来つつあるので、地域格差なく皆平等にやれるようなものが早く備わればよい。
- ・ 成人式のアウガ会場は、いじめや不登校などで出身中学校に行けない子どもたちも参加しやすいよう、ご配慮いただきたい。